



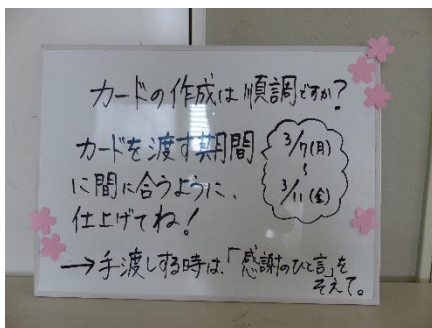
# 未来を夢見て Season 2

2022/3/3 No. 129

5年生さんありがとうございました 6年生を送る (児童会行事)

冒頭からうれしい話題です。「小野小学校さんの電話対応すばらしいですね。」

大和町教育委員会の富士原参事先生からお褒めいただいたのは、阿部桃子先生でした。いつもは教頭先生方や堀田先生が職員室の電話を受けてくださいますが、この日は留守だったらしく私(校長)あての電話をしっかりと取りついでくれました。携帯電話が主流の現代では、ダイヤルを回せば(?)相手に直接つながります。でも、固定電話、特に学校の電話ではまず話したい相手が直接受話器を握ることはほとんどありません。そこで「大和町立小野小学校、〇〇です。」とまず、誰が出たかをはっきり伝え、だれにつながっていただきたいのかを確認します。たったこれだけのことですが、この間の声色や間、口調などで、相手におもしろいようにその人がどんな人か伝わります。相手との情報交換の手段として、LINE やメールが主流になった現在でも、やはり電話のもつ特性はこれらのツールを上回っています。そういう意味では電話は学校の顔。教頭先生方や堀田先生というすばらしいお手本が身近にいること、皆さんにとっても心強いことと思います。



3月3日(木)、ここ数日温かい日が続きましたが、今日は少し肌寒さを感じる1日となりました。そんな朝でも6年生から校旗掲揚を引き継いだ5年生の皆さんが、友達と協力しながら校旗の掲揚に取り組んでいました。3月に入って、いよいよ6年生の卒業も間近になり、校内のあちらこちらでも卒業に関する掲示物が目にとまるようになりました。そして、今日は桃の節句、給食も「ひなまつりメニュー」。ちらし寿司にすまし汁、おひたしに卵焼きと伝統的な和食に「ひなあられ」が彩りを添えてくれました。



3校時の「6年生を送る会」では、5年生が6年生への感謝の気持ちを込めて準備を行い、廊下の装飾、クイズによる6年生との学校生活の振り返り、そして委員会の引き継ぎとこの日ために計画的に準備を行い、当日も堂々と会を進めてくれました。コロナ禍ではありますが、このように工夫して行事を行う大切さは「学校において、やれる範囲のなかでの手作りの大切さ」(教職研修 3月号)で天笠茂先生(千葉大学名誉教授)も触れられています。5年生のみなさん、そして指導にあたった先生方、みなさんお疲れ様でした。

さて、会では「ハウリング」で悩まされましたが、途中で原因が見つかり、これも無事解決していただきました。担当の中津川先生の反省の弁「(職場の)人間関係ではハウリング起こさないようにします」には、(なるほど、その通りだ!)と納得させられました。放送はうまく行って当たり前。辛い仕事ですが、卒業式はよろしくお祈りします。

(文責: 手代木)